「キャリア・デザイン」へ向けての履修戦略

＊8頁の対照表を参照

矢　野　修　一

① はじめに

「キャリア・デザイン」へ向けての履修戦略やて？ハア〜？ここをどこやと思てんねん！真理を探究し、人生の意味を問う学問に取り組もうっちゆう最高学府やで！キャリア・デザインだの、資格だのとぬかすやつは、専門学校にでも行っとかんかい！わしゃ、よう相手せんわ！

てなことを、一昔前の大学教員ならおっしゃっていたでしょうね。でも時代は変わりつつあります。「大学全入時代」到来と言われる二〇〇七年はすぐそこです。フリーター、ニートが社会問題化しているなか、「進路なし」の卒業生を大量生産するような大学はつぶれるでしょう。最高学府たる大学でも、いや、最高学府たる大学だからこそ、学生さんのキャリア・デザインを無視するわけにはいきません。学生の皆さん一人一人がこれからの社会を担っていくのですから。

ここでは経済学部カリキュラムと関連づけながら、職業選択、人生設計をまじめに考える学生諸君に対するアドバイスを簡単にまとめておきましょう。

② 各種資格の試験科目と経済学部カリキュラム

まず、経済学部生の関心が高い「公認会計士・税理士・不動産鑑定士・中小企業診断士」の試験科目と経済学部設置科目の関連について、8頁の別表にまとめてみました。一見すれば分かるように、とりあえず簿記の勉強がベースになりますから、まだ何も手をつけていないという人は、**簿記論**を受講するとともに、日商簿記三級取得に向けた勉強を始めるとよいでしょう（税理士志望の人は**財政学**も必須）。三級取得済みの人は、会計・税法関連科目をどんどん受講していってください。

表に掲げた資格の関係上、会計や税務、企業法関連科目が多くなっていますが、同じく学生さんの関心が高い「上級地方公務員採用試験」の専門試験出題科目をみると、**『経済原論A、基礎ミクロ経済学、基礎マクロ経済学、応用マクロ経済学、国際経済学、財政学、地方財政論、租税論、経済政策論、金融論、公的規制の経済学、行政法、日本国憲法、政治学、現代民法総論、物権法、債権法（総論・各論）、経済史概論、西洋経済史、日本近代経済史、経済学史、社会政策論、世界経済論、アジア経済論、日本経済論、社会学、労働法、労使関係法、企業統治法、企業金融法、企業取引法、有価証券法、経営学総論**といった科目が関連してきます。択一式の他、記述式専門試験の科目を考えあわせると、『　』で括った科目の重要度が高くなります。論文が絡み、教養試験に「文章理解」があるとなれば、**文章表現、論文作法、論文の読み方・書き方**といった科目も役立つと思います。

もちろん経済学部設置科目が各種試験科目のすべてをカバーできているわけではありません。また各設置科目とも、試験対策を念頭に講義が進められているわけではありませんから、試験合格のためには各自の地道な勉強が一番大切です。それでも、自分の目指す資格・試験に関連する科目を履修することは、夢の実現に向けた第一歩となるでしょう。

就職試験、企業の幹部昇格試験などで最近注目のTOEIC（Test of English for International Communication）については、経済学部必修の**英語**、また選択科目の**上級英語**が役立ちます。これも、専用教材を用いながら各自が日々努力する必要がありますが、講義スタッフには、TOEFL満点、英検一級取得の専任教員もいますから、貴重な指針が得られるはずです。勉強法など、気軽に質問してください。

③ 何のための資格か？

様々な資格、公務員試験等は、生半可な努力でクリアできるほど甘いものではありません。8頁の別表に掲げた資格など、現役合格するのは至難の業です。おそらく皆さんが大学受験に取り組んだ時以上に、気合いと継続的な努力が必要になります。一人だけではなかなか勉強がはかどりません。だから、大学とは別に専門学校に通う人（いわゆるダブルスクール族）もいます。本学の「公務員養成セミナー」を受講する人もいます。試験を意識する学生が多く集まる学内サークルに入る人もいます。試験科目と研究内容が近い「ゼミ」（必修）に入って研鑽を積み、仲間と切磋琢磨しようとする人もいます。そうして見事に夢を実現させた先輩方が数多くいます（詳しくは本冊子の2〜12頁を参照してください）。

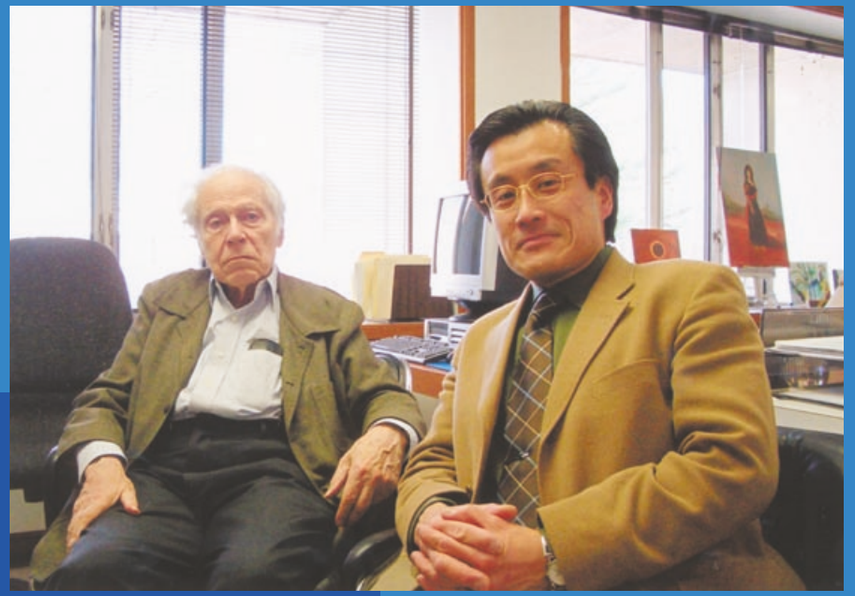
資格取得のためには勉強量がものをいいます。けれど一番大事なのは、何のための資格か、きちんと認識することだと思います。志望動機を明らかにすることは、民間企業や教員、大学院進学も含め、どんな進路を目指すにしても必須事項です。何のための資格か、しっかり自覚していないと苦しい試験勉強を継続することはできません。目標がはっきりとしていれば、そして望むらくは、その目標を共有できる仲間がいれば、膨大な勉強量であれ、助け合い励まし合いながら、何とかこなせるでしょう。

何のためにその資格を目指すのですか？あなたの夢にその資格は必要ですか？自信を持って答えられる人は、夢に向かって邁進してください。私たち経済学部専任スタッフができるかぎりのお手伝いをします。

④ おわりに

資格、資格と言いますが、それを取れば人生安泰、などという資格など、ほとんどありません。だからこそ、その資格を取ってどうしようというのか、何のための資格か、自ら問うことが非常に重要なのです。

そして、人生において貴重な学生時代。試験勉強で終わってしまっては何ともったいない。あまりに狭く目標を設定するのではなく、多くの本や映画に親しみ、問題を発見し、友人や教員と議論してください。「そんな回り道をしていられるか。俺には時間がないんだ。」という人もいるかもしれません。でも、人生における「手段と目的」、「費用と便益」なんて、最初からそんなにはっきりしているわけではありません。いろいろな本、いろいろな人、いろいろなシチュエーションに出くわすことが、今まで想定していなかった道、「新たな可能性」を切り開くことだってあるのです。そんな「出会い」の場を育むのも、私たち専任教員の役目だと思っています。



写真左はプリンストン高等研究所名誉教授A.O.ハーシュマン

SHUICHI YANO
経済学部教授。
（E-mail：yano@tcue. ac.jp）
1960年生まれ。1991年京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。2006年京都大学博士（経済学）。「背中で語るシブイ中年」を目指してるんやけど、最近、背中を見せると頭頂部の薄さが目立つようになってもうた。禿げても日本のロックを引っ張る永ちゃんに負けんように、俺もがんばるわ。
ボシビリズム研究会のホームページ
（http：//www.geocities.co.jp/CollegeLife-Lounge/2137/）
に「研究室だより」を載っけてますんで、そっちもヨロシク。